

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習IV		
担当者(Instructors)	松尾 香弥子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅰ・Ⅱ学んだ内容と、Ⅲですすめてきた研究について、卒業論文・ゼミ論文として完成させていく。卒業論文やゼミ論文には、専門知識、論理展開、批評的見解、データ処理、プレゼンなど今後の人生で役立つあらゆるスキルが入っており、これらの作成と同時にスキル習得を目的とする。演習ではPCを使用して作業を行うため、必ず持参すること。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式でおこなう。自分自身でテーマを設定し、基本的に一人で卒業論文の作成に向かって課題を進めるが、演習全体ないしグループで共同作業する場合もありうる。演習中は随時、教員とコミュニケーションをとりながら課題をすすめる。定期的に各自の研究についてプレゼンテーションを行う。学期の最後には心理担当教員の全演習による全体発表会を行い、各自の研究成果について発表を行う。シラバス内容やその実施回は、進捗状況等に応じて柔軟に調整・変更するので注意すること。また、基本的には対面で指導を行うが、場合によってはリモート授業（リアルタイム、オンデマンド）で実施することがありうる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	研究進捗確認及び後期予定の確認	夏季休暇中の研究進捗及び卒業までの研究のプランの発表	<input type="checkbox"/>
第2回	調査・実験の実施1	各自のテーマに沿って、調査・実験をおこなう。データベース研究は解析をおこなう1	<input type="checkbox"/>
第3回	調査・実験の実施2	各自のテーマに沿って、調査・実験をおこなう。データベース研究は解析をおこなう2	<input type="checkbox"/>
第4回	データ処理をおこなう1	各自の研究内容に沿って、データを解析する1	<input type="checkbox"/>
第5回	データ処理をおこなう2	各自の研究内容に沿って、データを解析する2	<input type="checkbox"/>
第6回	卒業論文の執筆1 インTRODクシヨンを書く	INTRODUCTIONを執筆する。	<input type="checkbox"/>
第7回	卒業論文の執筆2 方法を書く	方法を執筆する。	<input type="checkbox"/>
第8回	卒業論文の執筆3 結果を書く	結果を執筆する。	<input type="checkbox"/>
第9回	卒業論文の執筆4 考察・参考を書く	考察・参考を執筆する。	<input type="checkbox"/>
第10回	プレゼン資料を作成する1	論文執筆と同時にパワーポイントでの発表資料を作成する1	<input type="checkbox"/>
第11回	プレゼン資料を作成する2	論文執筆と同時にパワーポイントでの発表資料を作成する2	<input type="checkbox"/>
第12回	演習内で発表をおこなう	演習内で予演会をおこなう	<input type="checkbox"/>
第13回	心理担当教員の演習全体での発表会1	研究成果について一人ずつ発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	心理担当教員の演習全体での発表会2	研究成果について一人ずつ発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	卒業研究発表会	学部全体での発表会で発表・聴講する	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：自身で設定したテーマに関する論文を読む。また関連する領域の最新研究についても常にアップデートを行う。（2時間）事後学習：講義で学んだ点や、指摘された点について自分の成果物である論文執筆を進める。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

一人ひとりの進捗やテーマに応じて、課題やタスクが毎回設定され、その振り返りをおこなう。プレゼンテーションや論文は適宜添削を行い返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	心理学研究を基盤として、問題意識を持ったテーマの設定、資料収集、発表資料の作成、研究発表ができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 演習への取り組み、卒業論文またはゼミ論文の内容、発表会での発表を総合的に評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		